（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	T-DREAM HOUSE hanare

公表日　R8年　1月　15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子供達が安心・安全に過ごせるように職員の配置には気を配っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子供達が通ってすエリアは、仕切りがなく子供達全体が見えるようになっている。	元々は一軒家の為、玄関など段差はあり。問題があれば、必要に応じて検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃がマニュアル化されて、職員の間で徹底できている。また手洗いや手指消毒の励行や加湿器等で感染予防も行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		2Fに子供達が個別になれる個室を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全体ミーティングと部署別ミーティングを定期的に行なっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週1度、部署内ミーティングを行なっており、誰でも発言できる機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		より良い支援が提供できるよう、様々な他事業所と情報提供を行う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPを通して公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員同士でコミュニケーションをとりながら作成するようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		HUGや個人ファイルを通して各スタッフが確認できる状況にしており、計画に沿った支援が行えるよう努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全体ミーティングで、プログラムの内容を共有している。	今後、プログラムの質を高めるためにスタッフ研修も行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			今後も児童や保護者様からのご希望やご意見も反映しながら、検討していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日・当日にその日の担当を共有している。保護者様からの連絡や送迎時での学校の先生からの連絡なども情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			稼働中のスタッフ配置（立ち位置）なども含め、その状況に合わせた対応ができるスタッフ育成の実施。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日、個別支援計画の目標を達成できるような視点で記入するよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童の気持ちを傾聴・尊重するような関りを実践している。職員全体の共通意識として、子どもの意思を尊重することを意識している。母親同伴で自分知識や経験が不足しているようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に毎回参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			円滑で包括的な支援が行えるように、随時検討していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定等の交換などは行なっていないが、連絡、送迎時に様子を共有しながら行なっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		必要があれば情報共有を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	まだそのようなケースがない	必要があれば情報共有を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	年に数回イベントとして自社お祭りでの販売体験として、地域のこども含め地域の方と関わる機会はあり。	
	33	（自立支援）協議会等へ隔月に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々、保護者の方に報告等行なっているが、不十分な点もあるので、保護者の皆様との対話の機会を増やすようにしていく。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		年に数回親子サッカーなどのイベントを開催している。	今後も児童や保護者様からのご希望やご意見も反映しながら、検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時や契約時に説明するようにしている。	ご質問があれば、随時お答えしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画更新時など保護者の方や本人の意向を確認するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			左記のような支援を行うようにしているが、不十分な面もあるので今後充実していきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者の交流を図ったポケットの会を年に数回開催している。	今後も保護者様からのご希望やご意見も反映しながら、検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご意見等をいただいた際にはスタッフに共有・確認し、適切な対応ができるようにがけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSの更新を行うようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫で管理している。書類廃棄時はシュレッダーを使用している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		その児童に伝わりやすい方法（視覚的に絵や文字に起こしたりなど）を模索し伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の方との交流の場は少ないので、今後図っていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアル策定はしてあるが、保護者の方に周知するまでには至っていない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP策定しており、有事が起きた際にしっかり対応できるよう、今後訓練も実施していく。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		必要時は服薬依頼書を提出していただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーに関しては事前に保護者の方から情報共有していただくようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたかで支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。		○	避難訓練等実施しているが、家族への周知は不十分である。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		注意事項は共有し、スレッドにも掲示板に情報を提載したことをすぐに共有するように全職員の認識を統一できている。	引き続き、事業所だけでなく、法人としての予防策・対応策について検討していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		そのようなケースがないが、今後あれば記載していく。